

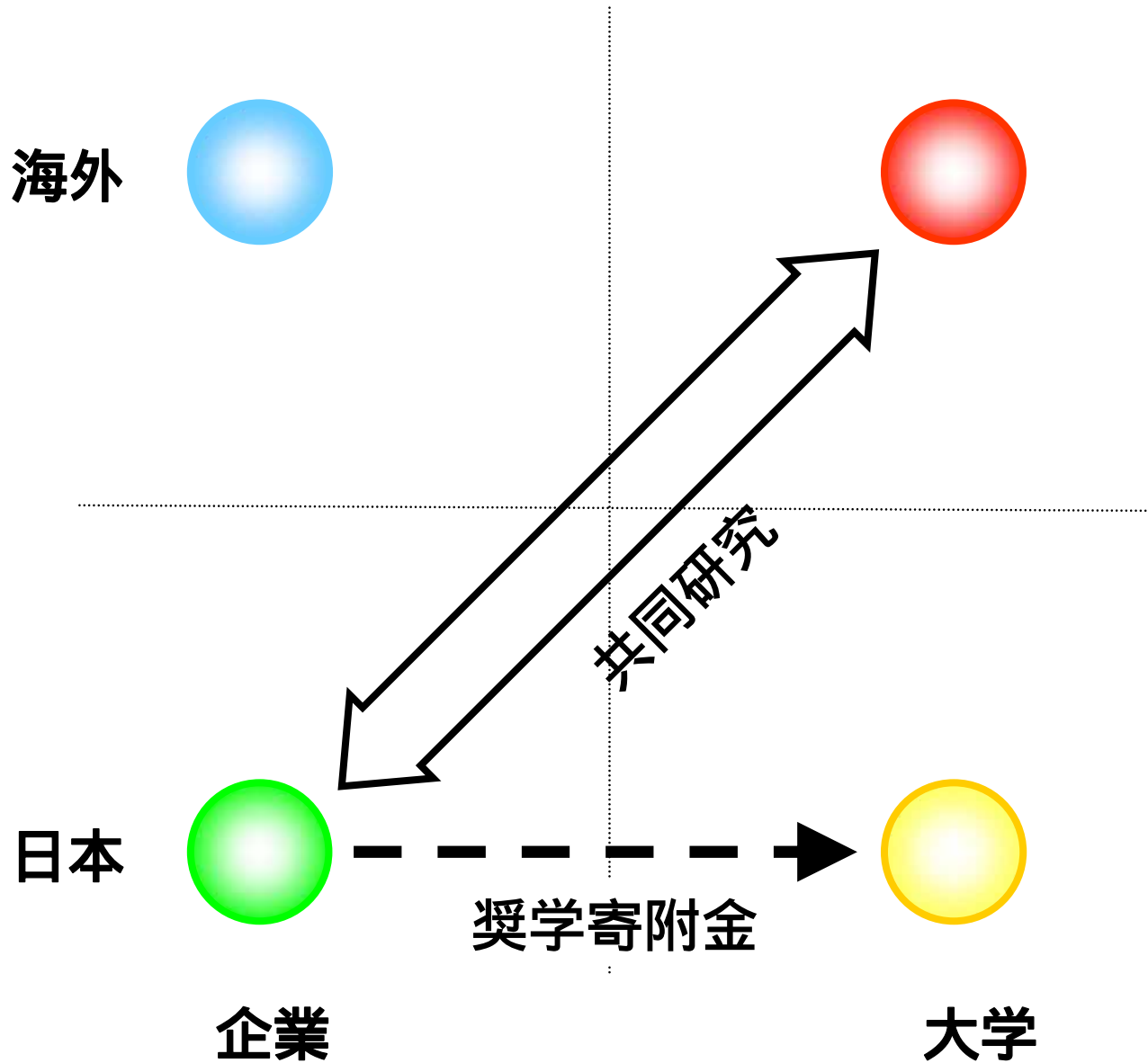
国際的産学官連携の新展開

2006年6月10日

吉川 誠一

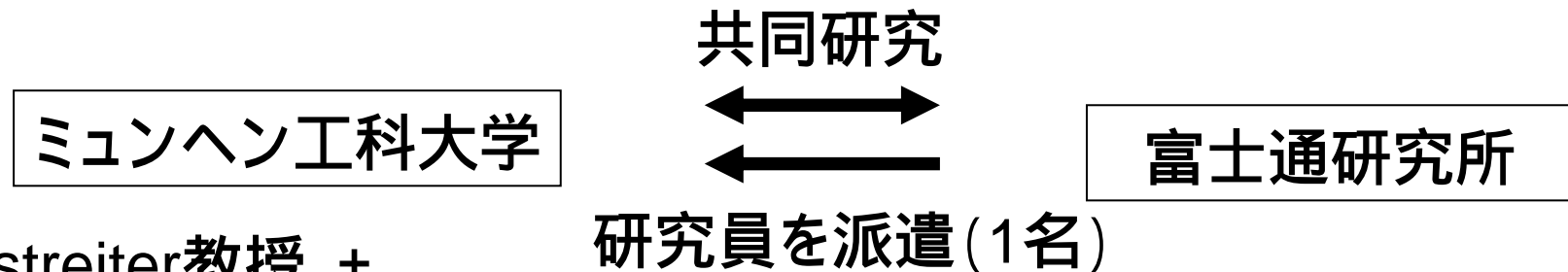
株式会社 富士通研究所

syoshi@fujitsu.com



研究開始時期 2001年

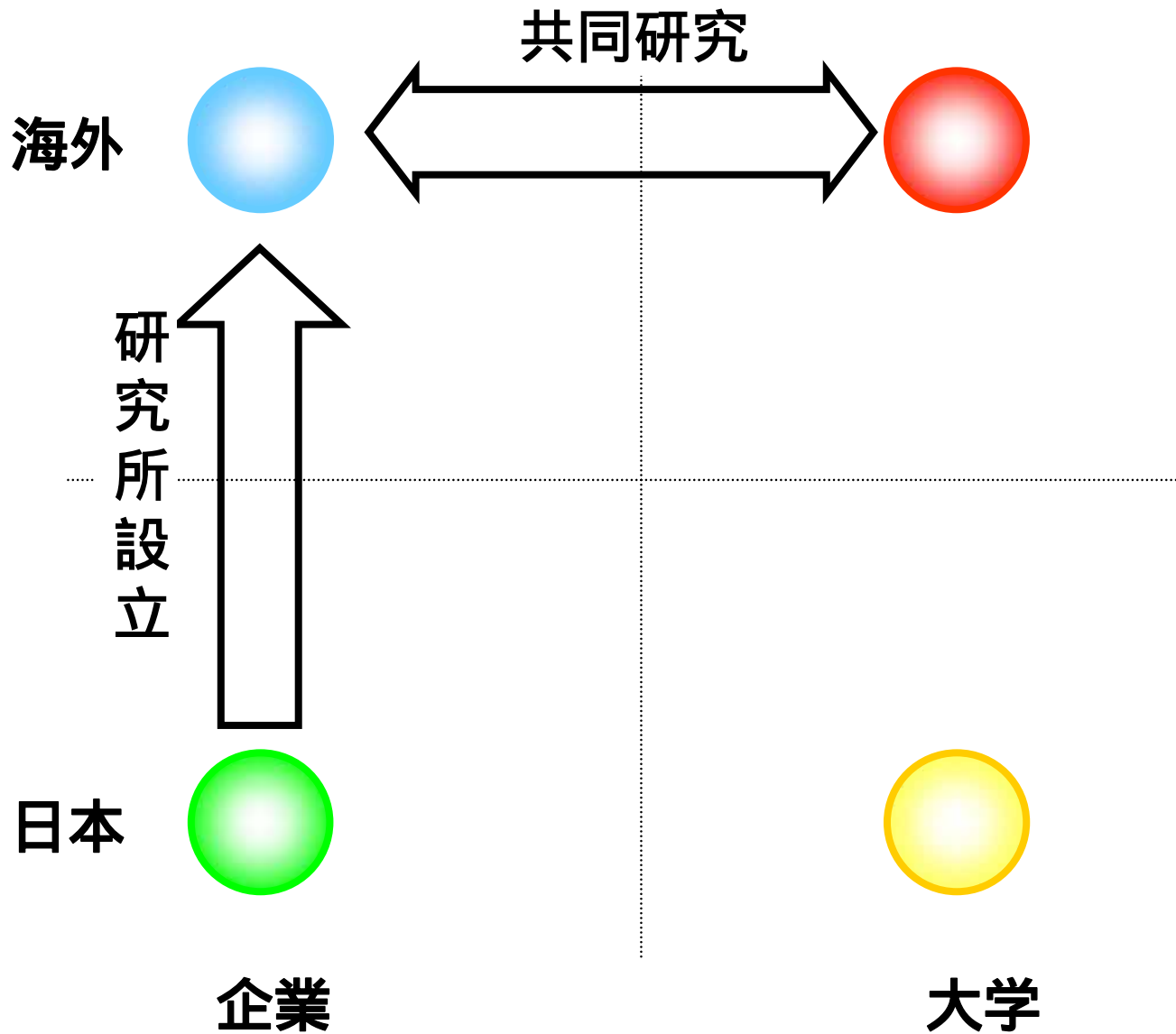
研究体制



Abstreiter教授 +
専任研究員2名 + 学生3名

特徴

- ・インセンティブ付与(学生への給与支給、博士論文)
- ・大学全体の中からテーマに適した優秀な研究員を選出
- ・DFG(Deutsche Forschungsgemeinschaft ドイツ学術振興会 - 州政府と連邦政府の共同支援)とBFBF(Bundesministerium fuer Bildung und Forschung 連邦教育研究省)の資金活用

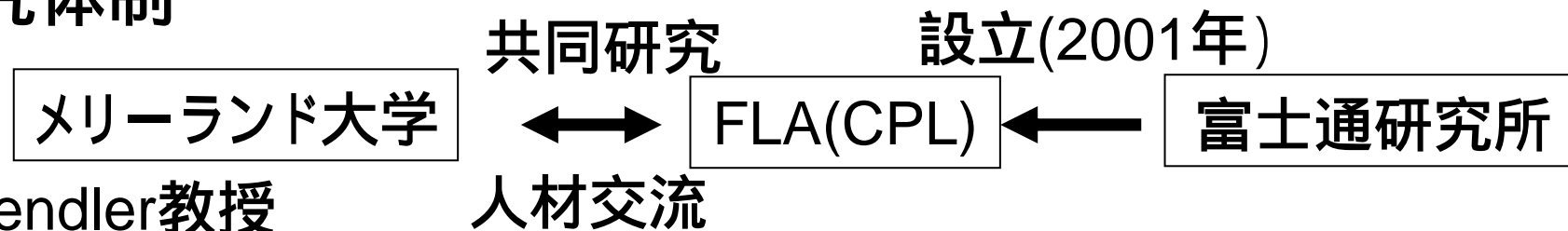


研究所設立

Fujitsu Laboratories of America, Inc. (以下FLA、設立1993年)
College Park Lab. (以下CPL) 設立 (MIND(Maryland Information and Network Dynamics) Labの建屋内)

研究開始時期 2002年

研究体制



Hendler教授
+ 専任研究員4名

特徴

- ・ SemanticWeb 研究を目的にHendler教授を中心とした研究プロジェクトチームをMIND Lab内に設置
- ・ 活発な人材交流(長期インターンシップ2名、Adjunctive Professor 3名)
- ・ 米国の国家プロジェクトへ参加(予定)

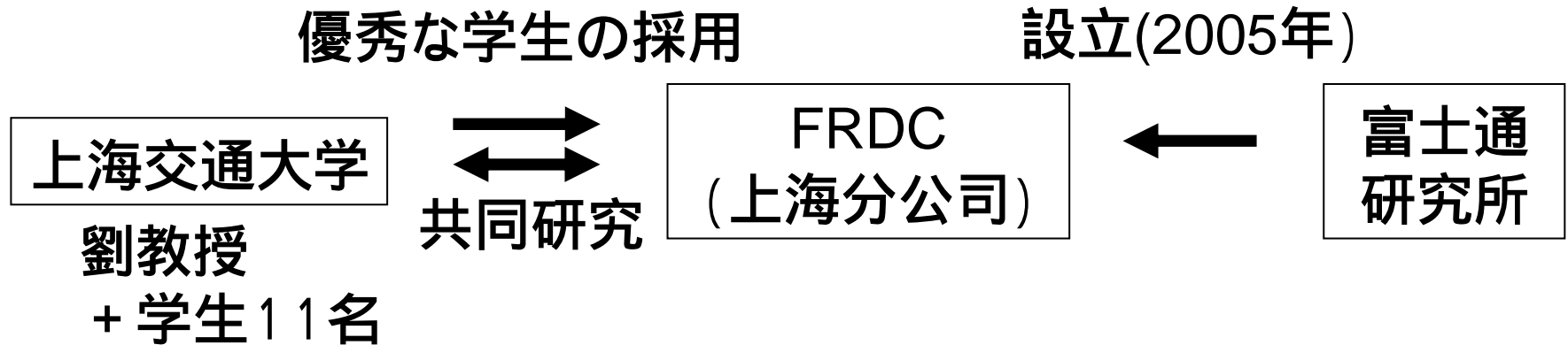
研究所設立

富士通研究開発中心有限公司 (以下 FRDC、設立1998年)

上海分公司 設立

研究開始時期 2004年

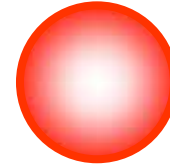
研究体制



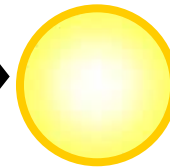
特徴

- ・弊社出身の研究員が上海交通大学教授に就任(2003年)
- ・中国標準のデジタルAVの研究開発
- ・優秀な学生の採用

海外



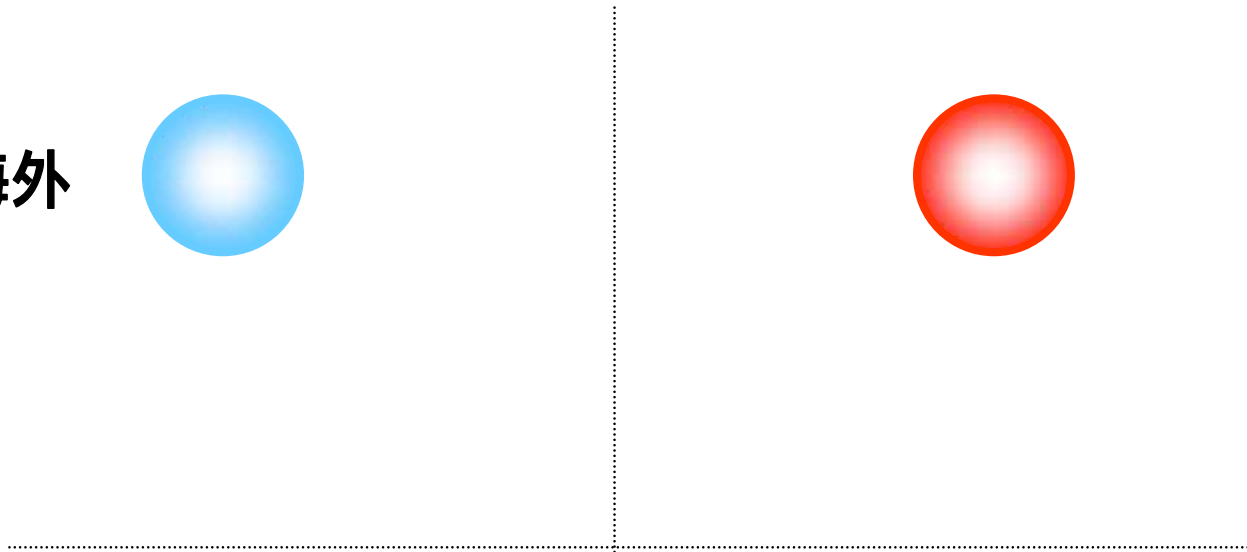
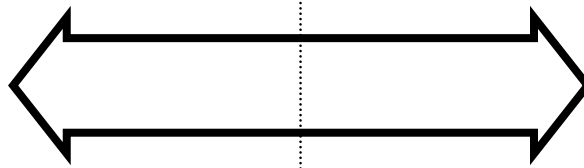
日本



企業

共同研究

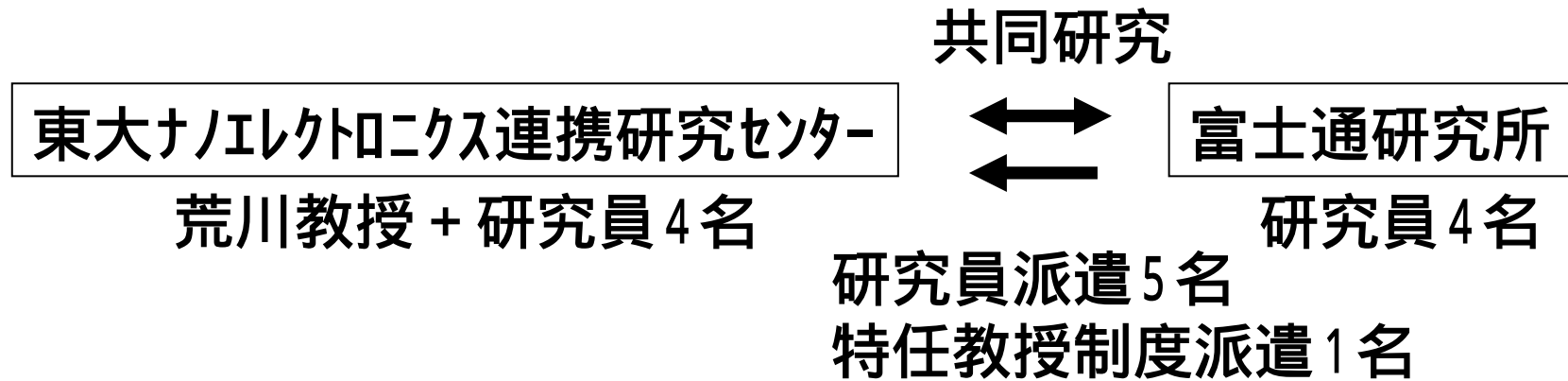
大学



事例4 - 東京大学ナノエレクトロニクス連携研究センター との量子ドット光デバイスの研究開発

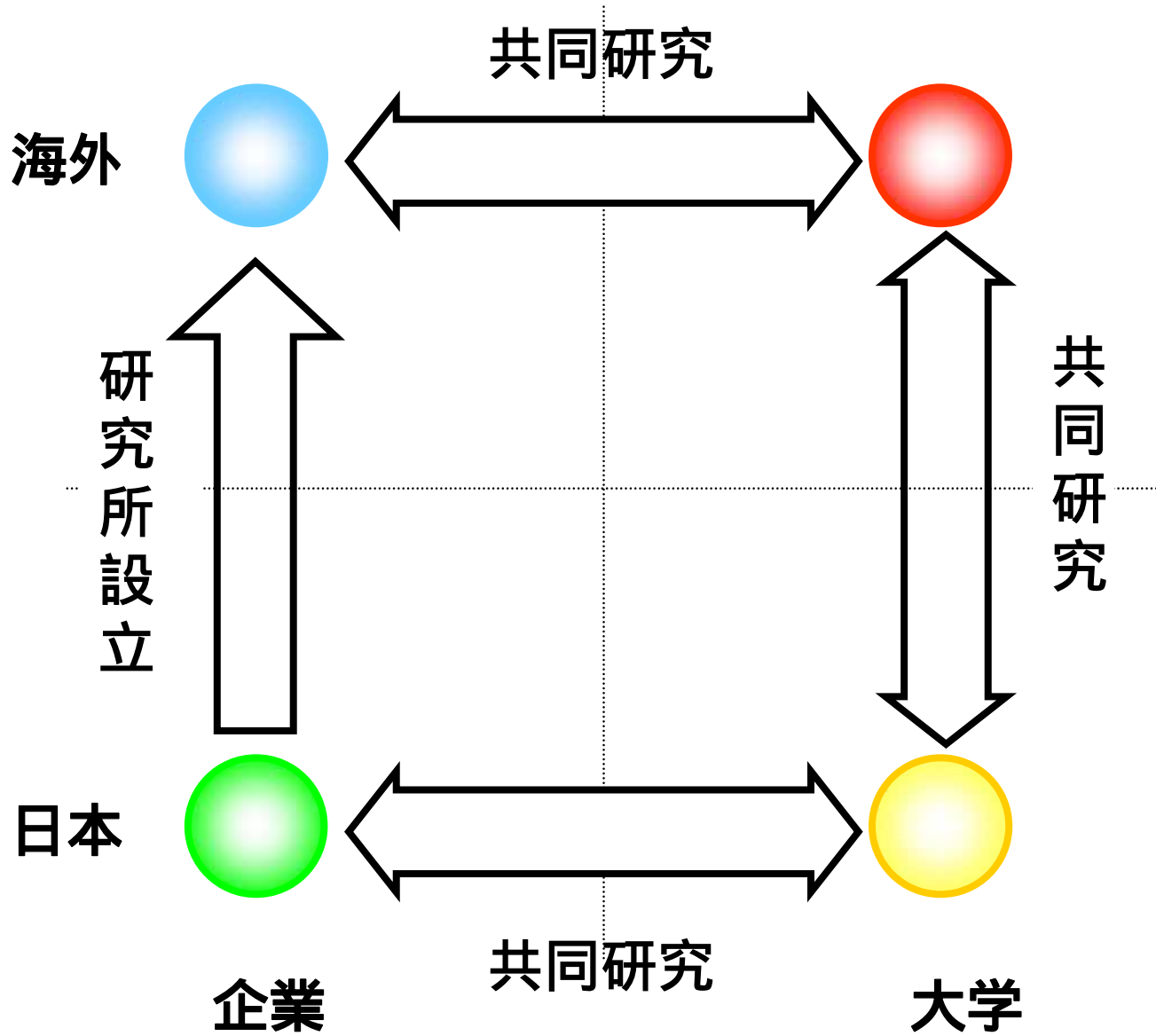
研究開始時期 2002年

研究体制



特徴

- ・ 出口志向のテーマ設定と優秀な人材の投入
- ・ 東大と富士通との相補的な分業体制
- ・ 文部科学省、経済産業省、総務省の国家プロジェクトによる研究推進
- ・ ベンチャー企業〔株式会社QDレーザ〕の設立(2006年4月)



事例5 - 早稲田大学、北京大学との中国語学習支援システムの共同研究

研究開始時期 2006年

研究体制

北京大学-富士通信息
科学技术联合研究中心
(2004年)

梅教授

FRDC



北京大学

共同教育
研究機構
(2003年)

設立
(1998年)



富士通研究所



早稲田大学



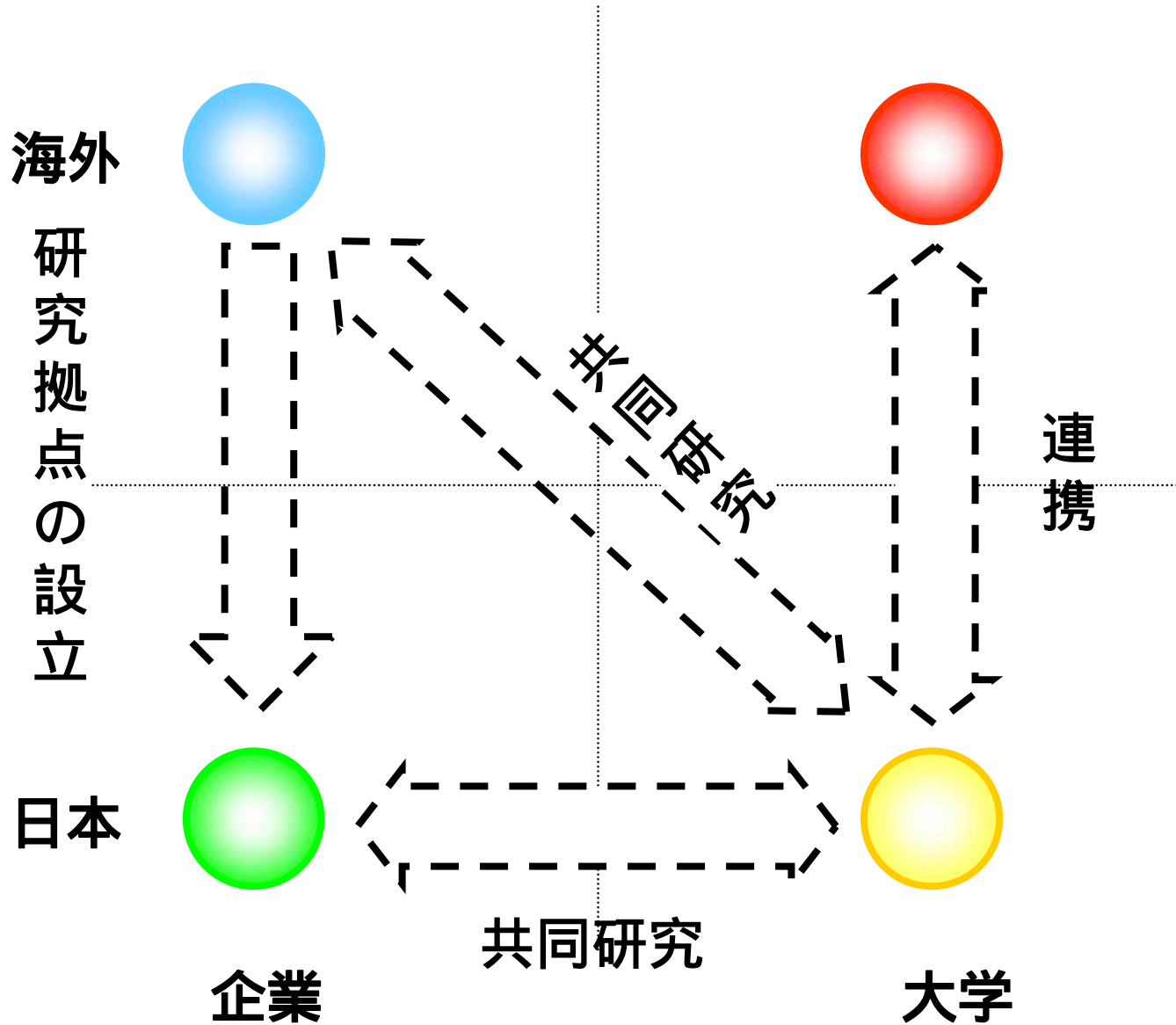
包括提携
(2003年)

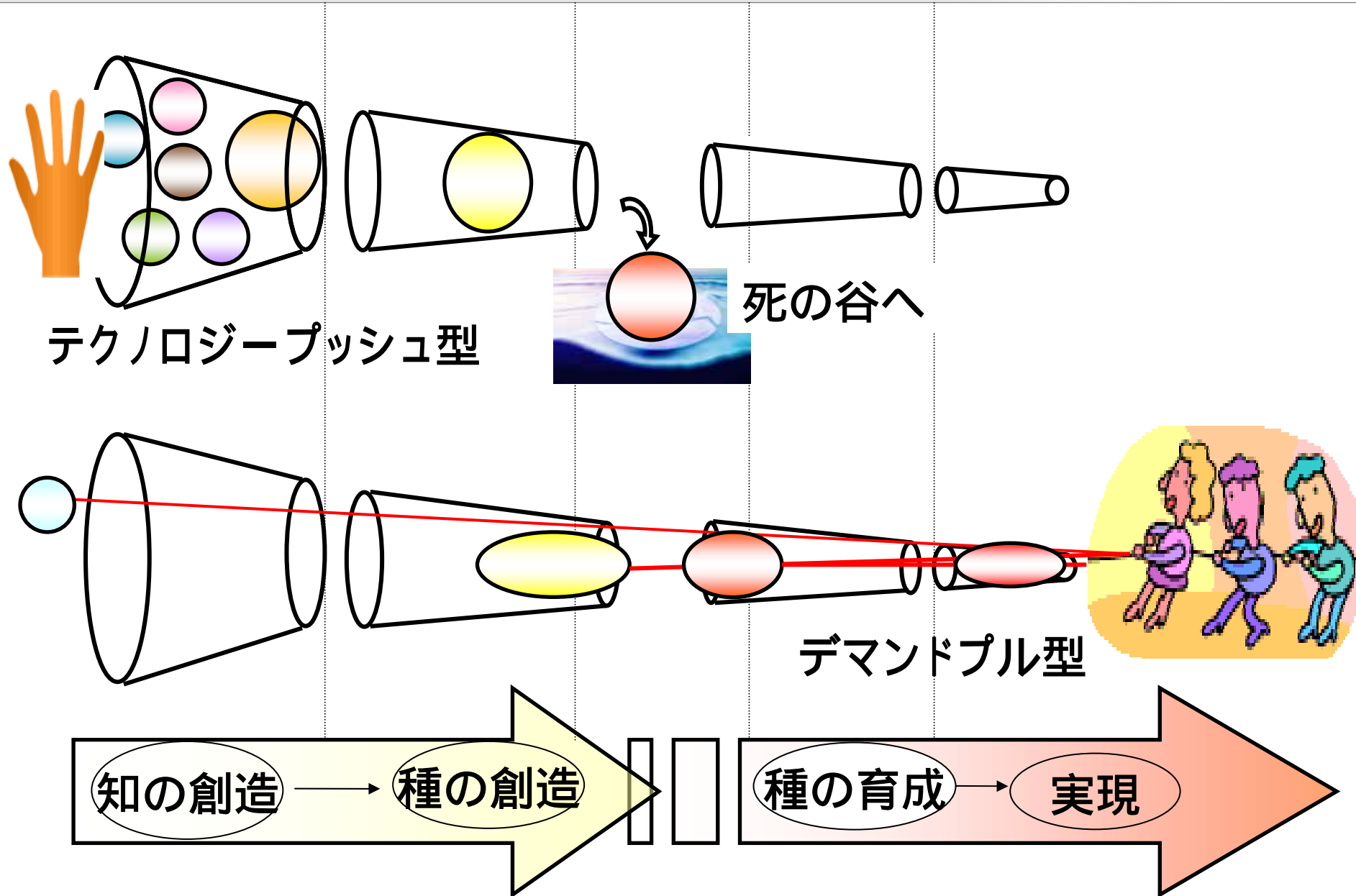
浦野教授
砂岡教授

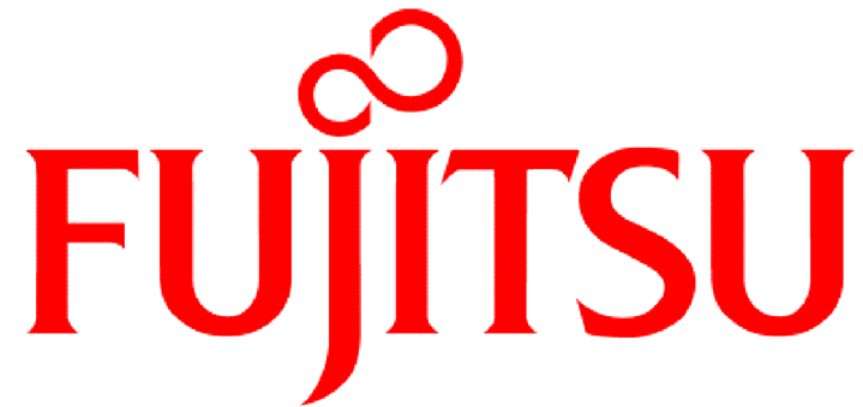
特徴

・国内外の企業と大学の4者共同研究体制

1. 教育、研究両面での国際競争力の強化
2. 国際的なCOE拠点形成を目指した海外の大学との連携強化
3. デマンドプル型イノベーションシステムの構築







FUJITSU

THE POSSIBILITIES ARE INFINITE